



今回は、小中生・保護者対象のオープンキャンパスの紹介です。

◇ 小中生・保護者の方を対象としたオープンキャンパスを実施しました

現中2生より、文科省が進める「高大接続改革」によって、大学入試の形態が大きく変わります。知識の量や解法スキルが重視される従来型の入試から、思考力や判断力、表現力をより重視した21世紀型入試への転換です（関高SGH情報第36号、関高HP「小中生の皆さんへ」等を参照）。

関高SGH活動では、そのような入試システムの変更を含む一連の高大接続改革に対応した様々な活動プログラムを組んでいます。「総合的学習の時間」を軸に、生徒全員で取り組む課題解決型研究もその一環です。

「SGH課題研究っていったいどんなことをやるの?」「SGH活動を勉強や部活動とバランスよくやることはできる?」「SGHと大学入試って、どう関係するの?」

そんな疑問に答えるために、今回のイベントを企画したところ、多数の方々に集まってくれました（小学生9名、中学生7名、保護者10名、地域の方2名）。講師役は、SGH活動の成果を生かして大学合格を決めた3年生4名、そして男女テニス部部員です。

◇ 生徒による課題研究発表、英語の模擬授業、部活動体験

■ハンバーガーショップを舞台とした英会話の模擬授業(3年生男子・バスケットボール部、3年生女子・カナダ留学)。写真上段。

■自身のコスタリカ留学体験や関市・美濃市の観光資源開発に関するプレゼン(3年生男子・陸上競技部)。写真下段。

■ニシローランドゴリラの行動観察に関するプレゼン(3年男子・自然科学部)。写真次頁左。

■硬式テニスの体験講座(男女硬式テニス部)。写真次頁右。男女テニス部部員の指導で、小学生も中学生も、楽しく体験できました。

■「小中生の皆さんには難しすぎたかな」「最後まで集中できるかな」。こちら側のそんな心配をよそに、最後まで食い入るようなまなざし、真剣そのものの態度で参加していただきました。

■対する高校生、はじめての子ども向けプレゼンに最初はやや緊張気味でしたが、パワーポイントを使っての、わかりやすくていねいな説明を心がけました。

■小中生のみなさん、保護者のみなさんには、プレゼンと部活動体験を楽しんでいただけたようです。一方、講師役を務めた生徒たちにとっては、「むずかしい話を優しい言葉で話すむずかしさ」「人に伝える大切さ」を学べた良い機会となりました。



◇ 参加した保護者の方々の感想

- ・SGHのプレゼンをする生徒さんが素敵でした。
- ・高校生によるプレゼンの様子を見て、自由に自分の興味や能力を伸ばしていけそうな関高校の校風を感じ、良いなと思いました。みなさん、イキイキとしていました。
- ・(高校生として) お世話になっていた頃とすごく変わっていて驚きました。勉強のイメージしかなかったので、プレゼンを聞かせていただいて、高校生になるとこんなことができるようになるのかと感動しました。
- ・生徒のプレゼンがとても素晴らしかったと思います。普段は見られないところを見せていただき、楽しめました。
- ・高校生のプレゼンが立派でびっくりしました。ありがとうございました。



小中生のみなさんには、校舎内見学、部活動体験が強く印象に残ったようです。保護者の方々からは、高校生が行うプレゼンや模擬授業について、高い評価をいただきました。関高校のSGH活動では、今後も地域の方々との交流や研究成果の普及活動、地域に貢献する実践活動を積極的に推進していきます。